

次世代に向けた内部監査セミナー

～取締役や内部監査部門が今後果たすべき役割～

主催 有限責任監査法人トーマツ

AI や IT ツール、ERP の導入によるデジタルリスクの増大、海外拠点の設立や重要性の増大により、企業が直面するリスクも年々多様化しています。これらのリスクに適切に対応していくために、内部監査やリスク管理の重要性が増していると考えられます。また、新たなリスクに対応するため、従来の内部監査手続の踏襲では無く、その時々々のリスクに対応した手法を新たに取り入れる等、内部監査及びリスク管理手法の変革が必要になると考えられます。

今回の内部監査セミナーでは、午前と午後の2部構成で実施いたします。

午前は、内部監査部門に初めて配属された方向けに、内部監査の基礎となる手法や留意点を学ぶことができるワークショップを開催いたします。実践形式で実施するため、内部監査やリスク評価の現場ですぐに役立てて頂く事ができる有用なコンテンツとなっております。

午後は、内部監査やリスク管理を一步進めた「次世代の内部監査」をテーマとして、特に近年話題になることが多い「海外リスク」や「デジタルリスク」を取り上げ、内部監査のコンサルティング経験が豊富なメンバーから、実例や実践方法を交えて、最先端の手法をわかりやすくお伝えします。

ご多用とは存じますが、是非この機会にご参加下さいますようお願い申し上げます。

- 開催日時 2025年6月12日(木) 10:00~17:00 (受付開始:9:30)
- 会場 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所
〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-1-1 淀屋橋三井ビルディング 9F セミナールーム
- 対象者 経営に資する内部監査部門・リスク管理部門の責任者様・担当者様
- 定員 午前 40名 午後 60名 (定員に達し次第、締め切ります)
※ 同業他社の方、および個人の方のお申込はお断りさせていただく場合がございます。
また、午前枠に関してはワークショップという開催形式から、1社2名までの応募に限定させていただきます。
午前午後両方申込の方は両方をご選択ください。
- 受講料 無料
- 申込方法 Web サイト(<https://tohmatu.smartseminar.jp/public/seminar/view/59813>)
QRコードよりお申し込みください。

※ 本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。ご回答いただく内容は、SSL 暗号化通信により内容の保護を図っております。
※ お申し込みは1名様ずつのご登録が必要となります。
※ 過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申し込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みの ID・パスワードでお申し込みいただけます。
※ 受講者の方へは、セミナー開催1週間前を目安に受講票のご案内メールをお送りいたします。
当日は受講票と名刺をお持ちの上、ご来場下さい。



■ スケジュール

開催時間	内容	講師
第 1 部 内部監査の基礎		
10:00～10:05	ご挨拶	有限責任監査法人トーマツ パートナー 立野 睦
10:05～12:00	<p>内部監査の基礎概論</p> <p>内部監査における基礎的な知識習得とスキルアップを目的としております。</p> <p>内部監査の基本的な流れ(監査目標・計画立案・手続実施・結果報告・改善状況)の理解や監査人に求められる能力、監査人のインタビュースキルや監査調書の作成方法などのソフトスキルの向上を目的とし、ワークショップ形式で解説します。</p>	有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 池上 悟
12:00～13:00	休憩	
第 2 部 近年のリスクと次世代の内部監査のあり方		
13:00～14:30	<p>グローバル内部監査における最新トピックス</p> <p>グローバルのマクロ環境が激変する中、環境・人権等の ESG テーマに対するステークホルダーの期待やコンプライアンスへの意識は益々高まっており、グループ経営において対処すべきリスクは極めて多様化しています。これらのリスクに適時・適切に対処し、グループ経営のかじ取りを機敏に行っていくうえで、内部監査部門が果たすべき役割や重要性もこれまで以上に高まっていると言えます。</p> <p>一方で、こうしたグローバルで多様化するリスクを適切に把握・分析し、内部監査活動に迅速に落とし込んでいく取り組みが十分に進んでいない企業も多いと思われます。</p> <p>そこで、本パートでは、サステナビリティや人権等の ESG テーマ、グローバル・コンプライアンス、サプライチェーンリスクといった最近の重要トピックスを取り上げ、内部監査としてこれらのリスクをどう考え、グループの内部監査計画にどう織り込むべきかについて、事例を交えて解説します。</p>	有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 安岡 正哉 マネージングディレクター 金子 恵理
14:30～14:45	休憩	
14:45～16:15	<p>デジタル時代の内部監査リスク評価のあり方</p> <p>AI や RPA、ERP システム等、業務の中で IT や DX ツールの利用は拡大しており、それに合わせ、デジタルリスクも年々高まっています。AI リスクやサイバー等のセキュリティリスクといった最近トレンドとなっている「デジタルリスク」を取り上げ、経営者および内部監査部門が果たすべき役割、実施すべき取り組みについて解説します。</p> <p>また、データを活用することで内部監査やリスク管理を効率的かつ網羅的に実施する取り組みが進んでいます。内部監査やリスク管理にデジタルを活用する手法について解説します。</p>	有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 中井 康博 シニアマネジャー 吉野 清隆
16:15～17:00	<p>内部監査やリスク管理の在り方に関する個別相談会</p> <p>内部監査に関するアドバイザー経験を持つトーマツの専門家が、個別に他社事例をご紹介するとともに、内部監査やリスク管理の進め方について具体的にお話いたします。</p> <p>無料で実施いたしますので、是非この機会をご利用ください。</p>	有限責任監査法人トーマツ

※講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講師プロフィール

講師	プロフィール
 <p>有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 池上 悟</p>	<p>製造業、小売業、運送業を中心に金融商品取引法・会社法に基づく法定財務諸表監査、J-SOX 監査等の監査業務に加えて、上場企業を中心とした各種経営課題・内部管理体制に対するアドバイザリー業務に従事。 最近では改訂 J-SOX 基準に対応するための不正リスク評価、リスクマネジメント活動及び内部監査高度化といった GRC(ガバナンス・リスク・コンプライアンス)領域でのアドバイザリー業務に従事している。 公認会計士</p>
 <p>有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 安岡 正哉</p>	<p>建設不動産業、製造業、専門商社の金融商品取引法・会社法に基づく法定財務諸表監査/内部統制監査を担当するほか、内部統制構築支援、子会社決算指導業務等のアドバイザリー業務に従事。 2018 年～2022 年まで、Deloitte Brazil の Sao Paulo オフィスに赴任。日系企業に対して監査業務のサポート、税務、リスクアドバイザリー、コンサルティング関連の提案、サービス提供に従事。 Brazil から帰国後は、大手上場企業の監査業務を担当するほか、海外子会社の決算体制構築支援、内部統制構築支援、J-SOX 対応支援など、各種アドバイザリー業務に従事。 公認会計士</p>
 <p>有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 中井 康博</p>	<p>シンクタンクでの ERP 導入コンサルティング経験を経て、有限責任監査法人トーマツ入社。IT 監査業務に加えて、IT/DX 推進全般のアドバイザリー業務に従事。 前職では製造業を中心に、ERP 導入および BI 導入に関するコンサルティングを実施。 現在は、国内／海外企業に対する IT・デジタルリスクに対応したシステム監査や情報セキュリティ監査の実施、デジタルを活用した内部統制構築、内部統制の高度化・効率化のためのアドバイザリー業務を実施。また、幅広いシステム導入知見を活かし、新システム導入に向けたシステム化構想・要件定義および PMO に対するアドバイザリー業務、データを活用した不正兆候分析のための体制構築、分析シナリオ・分析手続の整備に関するアドバイザリー業務を多数実施している。</p>
 <p>有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 吉野 清隆</p>	<p>製薬業、製造業、商社、建築業、航空業等の会計監査に加えて、DX 推進支援、PMO 支援、不正調査、内部統制改善、内部監査実行支援、会計基準変更対応業務などに従事。 法人内のデジタル人材(アナリティクス高度化・DX 推進)育成プロジェクトの企画・立上・推進を担当し、全国で 900 名以上のデジタル人材育成を実施。 公認会計士、公認情報システム監査人、日本公認会計士協会近畿会 IT 委員会委員長</p>
 <p>有限責任監査法人トーマツ マネージングディレクター 金子 恵理</p>	<p>大手監査法人アドバイザリー事業部を経て現職。製薬業、製造業、小売業、商社等を中心とした国内・外資クライアントに対するクロスボーダーの内部監査・内部統制のアウトソース・コソース、内部統制構築・評価業務、委託先調査、ロイヤリティ調査、リスクマネジメント、ガバナンス、コンプライアンス関連業務に従事。 米州イリノイ州公認会計士、公認内部監査人、公認不正検査士。</p>

- **会場**
有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所
〒541-0042
大阪市中央区今橋 4-1-1
淀屋橋三井ビルディング 9F セミナールーム
(地下鉄御堂筋線淀屋橋駅 10 番出口直結)

<アクセス>

- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 10 番出口直結
- 京阪本線「淀屋橋」駅 3 番出口から徒歩 1 分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-A 出口から 6 分



- **問い合わせ先**
有限責任監査法人トーマツ 関西セミナー事務局
〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-1-1 淀屋橋三井ビルディング
email: kansai_seminar_jimukyoku@tohatsu.co.jp
※ Web よりお申し込みができない場合は、セミナー事務局までご連絡ください。

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 9,400 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL (または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。